

日本共産党躍進で政権交代へ

衆議院解散うけ、白川さんが松山市で訴え

白川よう子比例候補は、14 日午後の衆議院解散をうけて、松山市内の繁華街で演説し、「いよいよ、みんなの力で政権交代を実現する総選挙のスタートです。『なにより、いのち』とぶれずに貫く共産党、四国から私を国政に送りだしてください」と力をこめて訴えました。林紀子愛媛県委員長、田中克彦県議、松山市議らが同乗しました。

白川さんは14日、早朝は県庁・市役所前で支部、後援会の人たちと朝宣伝に立ち、松山市内各所で街頭演説。午後は東温市で片岡朗候補と愛媛2区事務所開きで決意表明しました。



新居浜市で白川さん応援の勝手連が発足

東予地区3市で決起集会

13日、白川よう子候補は、3市での党と後援会の決起集会、新居浜市での超党派の「白川さんの話を聞く会」を駆け巡りました。

午前には、伊予三島で四国中央市の党と後援会の総決起集会に出席して決意を語りました。

午後には新居浜市で、愛媛県内の「議会へ女性を送る会」主催の「白川さんの話を聞く会」に出席してあいさつ、新居浜市で白川さんを応援する勝手連が発足しました。

集会には予定を超える70人が参加し、佐々木龍元新居浜市長が開会のあいさつ、無所属の永江孝子参院議員からメッセージが寄せられました。



7月に発足した「えひめ勝手連」のよびかけ人、無所属の武井多佳子県議が、砥部町、西予市に続いて勝手連が結成されたことを「力強く、うれしい。白川さんを国会に送り出すために『比例は共産党』とよびかけ四国から女性衆議院議員を送ろう」と訴えました。「議会に女性を送る会」代表の元無所属市議の伊藤初美さんは「白川さんの力強い訴えが胸に響いた。頑張ろう」とのべ、会場から「女性議員が増えないと政治は変わらない」、「白川さんの生き方が大好きです。私も頑張る」などの意見が相次ぎました。

白川さんはこのあと、新居浜市の党と後援会の決起集会であいさつし、片岡朗候補とともに今治市の総決起・2区事務所開きに出席して決意を語りました。

衆議院解散にあたって、四国4県委員長が訴え

日本共産党の四国4県委員長は14日、連名での訴え「四国から野党連合政権の扉、ジェンダー平等の扉を開く歴史的勝利を！」を発表しました。

(2面に全文掲載)

衆議院解散にあたって—四国の党と後援会のみなさんへ訴えます

四国から野党連合政権の扉、ジェンダー平等の扉を開く歴史的勝利を！

2021年10月14日 香川県委員長 中谷浩一
愛媛県委員長 林 紀子
徳島県委員長 上村秀明
高知県委員長 春名直章

14日、岸田首相は衆議院を解散し、19日公示、31日投票が確定しました。日本の命運、国民の命がかかった歴史的選挙の始まりです。

四国の党と後援会が心一つにたたかいぬいて、白川よう子比例候補を今度こそ国政に押し上げようではありませんか。四国から野党連合政権の扉、ジェンダー平等の扉をこじ開けようではありませんか。

四国比例は主要9政党すべてが立候補し、文字通り一票を争う大激戦、大接戦となっています。定数6の現在の議席数は自民3、公明1、立憲2。今度の総選挙で自民党の3議席目を阻止し、日本共産党が議席を得、野党が半数以上を占めるかどうか、四国比例の最大の焦点となっています。

いま日本共産党への熱い注目と期待が広がっています。

コロナ禍の中、苦難軽減へ献身的にがんばる党の姿、ぶれずに野党共闘に誠実にとりくむ党の姿に熱い共感が広がっています。コロナ対応、ジェンダー、気候危機、新自由主義からの転換など、党の訴えと政策に強い共感が寄せられています。

そして、白川よう子比例候補を先頭とする候補者のみなさんの熱い訴えが、広い有権者に党の値うちを届け、情勢を切り拓く最大の推進力となってきました。

「四国比例に女性議員を」は、幅広いみなさんの共通の願いとなり、各地で勝手連などが作られ、支持が大きく広がっています。無党派のみなさんが「比例は白川を通すために、共産党と書いて」と堂々と訴え、たたかっている姿に心から感謝し、その思いに党自身が応えねばなりません。

いま、間違いなく四国比例での議席獲得の勢いが生まれています。投票日までの十数日間、全党と後援会が心一つにがんばりぬけば、18年ぶりの議席奪還が現実のものになる可能性が広がっています。

党と後援会のみなさん、このチャンスを生かそうではありませんか。

ポスターやビラを活用しきり、公示までに「共産党は元気だな、勢いがあるな」と、広い有権者に伝わる大宣伝をやりぬきましょう。

すべての黨員、後援会員の力をあつめ、「比例は共産党」と、対話・支持拡大を飛躍させ、公示までに得票目標の28万7000をやりあげ、公示後も青天井に広げましょう。

政治を変えたい、命を守りたい、この思いは誰もが持っています。周りのみなさんに大胆に依拠し、「折り入って」のお願いを行い、選挙の担い手を末広がりにふやし、市民とともにたたかう選挙にしましょう。

わが党が共同候補の選挙区はもちろん、政権交代の大義のために、わが党が候補者を擁立せず、他の共同候補を支援する選挙区でも、勝利のために全力をあげましょう。

党と後援会のみなさん、私たち自身の力で風を起こし、私たち自身の力で勝利をつかみとろうではありませんか。ともにがんばりましょう。

以上